

砺波カイニヨ倶楽部会報

第六号

平成十年七月発行 発行所 砺波カイニヨ倶楽部 代表幹事 柏樹直樹
事務局 富山県砺波市表町七-二十五 TEL 0763/33-6588
天野一男建築工房内

◇旧中島家の掃除と総会

平成十年五月十六日(土) チューリップ公園内 旧中島家にてカイニヨの掃除の後、第二回総会が行われた。

十七名の会員が参加し、総会前の約二時間 旧中島家のまわりの樹木の枝おろしや掃除をして汗を流した。

午前十時三十分から、いろりを囲んで総会に入り、柏樹代表幹事が進行、天野事務局長が事業報告、会計報告、平成十年度事業計画案を提案した。

- 平成十年度の具体的事業として
- 1. 野松欣一さん宅(砺波市)の屋敷林勉強会
- 2. カイニヨの中で親子の集い
- 3. 炭焼き体験会
- 4. 桜見学会

以上を実行して行くことを確認した。

総会の後、「中島家と砺波地方」と題し新藤正夫幹事の講演を聞いた。主な内容は、散村と屋敷林の関係・風向きと家向き・農家の「あま」の活用・中島家の由来だった。

この後、蛇の話や屋敷林のうつり変わり、米の貯蔵方法、間取りのことなどが話題になった。カッコウや鶏の鳴き声を聞きながら、いろりの煙を目に大変面白い雰囲気の中の総会だった。後、いろりで炊いた豚汁で昼食をとり散会した。



いろりを囲みながらの楽しい総会



枝おろしてたくさん集まった木

ひとくちメモ

イスノキの「虫えい」

マンサク科で暖かいところにある種。モチノキとよく似た木。(最近では庭木に入っている。)

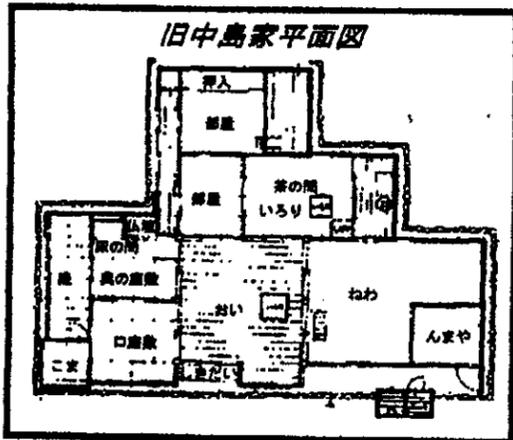
新葉にアブラムシが付くと、卵を産み付け三月に孵化し、それが葉に入ると、葉がふくれ上がる「虫えい」をつくる。

防除方法は、三月から四月中旬 ネットンがダイジストンを散布する。(野松さん談)



旧中島家

江波にあった肝入の家



事務局からのお知らせ

7月5日(日)の野松さん宅の勉強会で、緑色のあごひもの付いた麦わら帽子が忘れてありました。心当たりの方は、事務局でお預かりしておりますので連絡下さい。

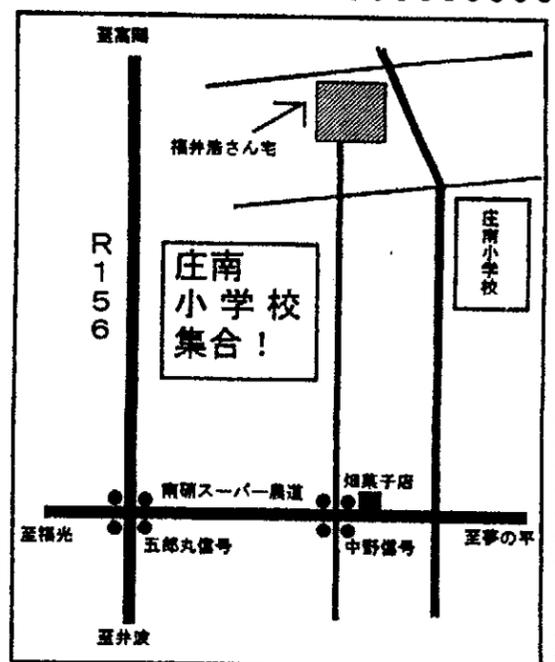


◇次回の行事予定

夏休み企画! 雨天決行
親子のカイニヨ勉強会

- 子供の年齢制限はありません。親子でお気軽に参加下さい。お孫さんでもok!
- 日時 / 8月10日(月) 午前9時から11時
- 場所 / 福井浩さん宅(砺波市新明32) 庄南小学校に集合し歩いて行きます。
- 会費 / 無料 ジュースを用意します。
- 内容 / カイニヨの中を楽しく探検!
- 尚、汚れても良い服装で(ズック、ぼうし)筆記用具、雨具を持参下さい。

申し込みは 事務局 FAX・TEL0763-33-6588 天野まで 〆切は8月8日(土)



◇百種類の樹木にビックリ！「屋敷林勉強会」

今年度の第一回例会として平成十年七月五日（日）砺波市三郎丸の会員野松欣一さん宅にて屋敷林の勉強会を行った。

大人二十六名と子供七名の計三十三名が参加し、数十年かけてつくられた野松さんの屋敷林の内容と、「苦勞の経過、思い出を、約二時間歩きながら聞いた。参加者全員が屋敷図を持って説明のある樹木をそれぞれ記入した。百種類近い樹種には驚いた。

特に、ツバキ、カエデの品種がそれぞれ十種類以上あり、その産地や特徴を丁寧に説明された。「手を掛けた人でないと伝えきれないことだ」と感心しながら緑で盛り上がる林内を見学した。

一巡した後、いろいろな質問が出された。「屋敷林内のお墓の形はどうして違うのか？」「害虫駆除は？」「市指定の保存樹は何本あるのか？」「ホタルはいるのか？」「どうしてこんな林をつくらうとされたのか？」等々...



野松さんの話を熱心に聞く会員



樹木の種類の多さにビックリ！！

また、「とても自分では作れないので、これからもぜひ、見せてほしい」などに野松さんは丁寧に応えられ理解を深めた。

大変暑い日だったが、屋敷林の中は涼しく快適な時間を過ごすことができた。実際に温度計で測定ところ、林内二十六度、東側畑内四十四度と十八度の温度差があり、樹木によってとても涼しくなることを実感した。

そして、この日は、「アリスの会」の若い主婦の皆さんも参加された。また、北日本・富山・北陸中日新聞が、この行事を取材し報道した。

この行事を取材し報道した。

富山新聞

屋敷林の育成法学ぶ

砺波カイ 土壌整備や病害虫駆除



野松さん宅から約二キロ離れた砺波市三郎丸の野松さんの屋敷林で勉強会が行われた。

砺波カイ 土壌整備や病害虫駆除... 野松さん宅から約二キロ離れた砺波市三郎丸の野松さんの屋敷林で勉強会が行われた。参加者は、野松さんの説明を受け、実際に土壌を整備したり、病害虫を駆除したりする作業を行った。野松さんは、屋敷林の育成には、土壌の整備や病害虫の駆除が非常に重要であると強調した。また、樹木の選定や配置についても詳しく説明した。参加者は、野松さんの熱意と知識に感銘を受け、自分たちの屋敷林の育成にも活かしていきたいと決意を固めた。

7月6日(月)付けの新聞に野松さんでの勉強会の様子が載りました。

カイニョの作り方学ぶ

勉強会に30人参加 中日新聞

「カイニョ」の作り方を学ぶ勉強会が、砺波市三郎丸の野松さん宅で行われた。参加者は、野松さんの説明を受け、実際にカイニョの作り方を学んだ。野松さんは、カイニョの作り方には、土壌の整備や病害虫の駆除が非常に重要であると強調した。また、樹木の選定や配置についても詳しく説明した。参加者は、野松さんの熱意と知識に感銘を受け、自分たちの屋敷林の育成にも活かしていきたいと決意を固めた。

北日本新聞

屋敷林守る苦勞実感

樹木100種、手入れ1日かかり

砺波市三郎丸の野松さん宅で、砺波市三郎丸の野松さん(66)が、屋敷林の手入れをテーマにした勉強会を開いた。イチョウやハンノキなど市指定屋敷林を含め、100種以上の樹木の特徴や管理方法などを話し、屋敷林を守っていく苦勞を学んだ。



保全グループが勉強会

同市屋敷林に、今年度の第一回例会として平成十年七月五日（日）砺波市三郎丸の野松さん(66)が、屋敷林の手入れをテーマにした勉強会を開いた。イチョウやハンノキなど市指定屋敷林を含め、100種以上の樹木の特徴や管理方法などを話し、屋敷林を守っていく苦勞を学んだ。参加者は、野松さんの熱意と知識に感銘を受け、自分たちの屋敷林の育成にも活かしていきたいと決意を固めた。

会員 荒田さんの事が新聞に載りました。(平成10年7月10日付) 北日本新聞

天地人

深層の空でも太陽の光は降り注いでいるのだらう。荒田さんが静かに語る。砺波市の公務員、荒田清樹さん(53)が、新設の太陽光発電を見に行った。荒田さんは、太陽光発電の普及に力を入れている。荒田さんは、太陽光発電の普及には、政府の補助金や一般市民の理解が非常に重要であると強調した。また、太陽光発電の設置には、土地の確保や電力会社の協力が不可欠であると述べた。荒田さんは、太陽光発電の普及を通じて、環境保護とエネルギーの安定供給を実現したいと決意を固めた。

●会員が増えました！ 発足当時40人余りだった会員が77名に増えました。みなさまの期待に応えた会報づくりを！と思っています。